

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)		-	-	-
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数が前年度より増加している。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新規契約は少ないが既存の客の買換えが多くあり、前年をクリアできている。
		住宅販売会社（営業担当）	お客様の様子	・住宅展示場への来場客数が前月比101%と微増、しかし、新規商談件数が前月比166%と増えている。
		一般小売店〔鞆・袋物〕（経営者）	来客数の動き	・実店舗の売上は落ちている。ネット店舗の方は前年よりも伸びている。
		スーパー（販売企画）	来客数の動き	・今月は前年との旧盆の時期のずれにより販売数はアップしているが、それでも客数はマイナスである。時期を同条件に合わせてみても厳しい状況である。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・今年台風が多く、沖縄だけでなく県外にも影響が出て、観光客が少ない印象を受ける。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・3か月前と同様に稼働率において、前年同月実績と比べ若干のマイナスがある。台風の直撃はなかったものの台風の発生回数も多く、直前での台風関連によるキャンセル等もある。
		旅行代理店（マネージャー）	それ以外	・台風や大雨などの災害が続き、旅行のキャンセルがかなりある。自然災害なので仕方がない。
		その他サービス〔レンタカー〕（営業）	販売量の動き	・予約数は横ばい状態で、競合他社もおおむね同じ状況である。
		住宅販売会社（代表取締役）	販売量の動き	・戸建て住宅、民間アパート、公共の耐震工事などバランスよく工事受注できている。
		百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・食品を中心に前年から旧盆の前ズレによる7月への売上移行で苦戦がみられる。食品以外に衣料品の低迷も重なり伸び悩んでいる。一方、インバウンド売上は前年を上回り、伸びは鈍化傾向にあるが、堅調な推移となっている。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	それ以外	・台風の当たり年で入客にかなり影響があるのと、旧盆が週末に重なり、週末の入客が落ちている。
	観光型ホテル（代表取締役）	来客数の動き	・同業ホテルの状況を調べてみたところ、7月は前年割れ、8月も前年割れしそうであると考えているところが増えている。一番稼ぎ時の夏のお盆の時期でも、稼働率が前年よりも下回り満室近くにならないとのことである。はしかによる風評被害、台風、猛暑と外的なマイナスが多い。	
	x	商店街（代表者）	単価の動き	・近年、商店街では、大型店の影響もあってか客単価がなかなか伸びずに落ちているという話をよく耳にする。零細企業であることから、客に対しての値引きとかPRもしづらいような状況にあるとのことである。
企業 動向 関連 (沖縄)		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新築住宅の契約棟数及び契約額が、大幅に増えている。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共及び民間工事向け出荷が前年比で増えている。
		輸送業（経営企画室）	受注量や販売量の動き	・新聞報道にもあったように、台風も重なったことから観光客の減少に伴い、物量も減少している。しかし、あくまで一因ということにとどまっている。
		食料品製造業（総務）	受注量や販売量の動き	・お中元商戦等の季節要因を除けば、実際の販売量からしてさほど伸びがみられない。
		x	-	-
雇用 関連 (沖縄)		-	-	-
		人材派遣会社（総務担当）	求人数の動き	・求人数は引き続き多く、景気は良い状態が続いている。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	周辺企業の様子	・例年どおり、県外企業や県内大手企業の採用活動は収束に向かいつつある。しかし、県内中小企業の採用活動は年度末まで続く予想される。中小企業の採用活動、人材確保は年々厳しくなっているようにみられる。
	-	-	-	-

	x	求人情報誌製作 会社（編集室）	求人数の動き	・ 8月の週平均の求人件数は752件である。5月の週平均の926件と比較すると、マイナス174件と大幅に減少している。
--	---	--------------------	--------	---